

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年12月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% <div>(参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%</div>	利用者数 1,261名 支援対象者数 125名 就職者数 193名 就職率 24.8% <div>(参考)前年同月実績 ・利用者数 948名 ・支援対象者数 101名 ・就職者数 168名 ・就職率 19.8%</div>

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：40代 ・希望職種：一般事務

① 求職者の課題

・R3年に公的機関をパワハラで離職。それが原因で突発性難聴になるなど精神的ダメージを受ける。その後も交通事故に遭い鞭打ちなどで通院を余儀なくされるなど心身ともに苦しんでいた。母子家庭の母。

② 紹介の経過

・子供が2年後に大学へ進学することなどを考えると正社員として働くことが理想だが、上述の理由から体調面や精神的にも今は難しい状態にある。また職種についても事務職は慣れているもののトラウマで職場環境に不安を抱いてしまうような状態。そのため、出来る仕事とやりたい仕事を考えながら、得なければならない収入との兼ね合いなど、いくつかのパターンを想定、それを組み替えたりしながら、本人状況に合わせ納得のいく就職が出来るように検討を重ねた。その中で今しか出来ないこと、後で後悔しないことを本人が選択。昔からいつかはやってみたかった職種にチャレンジすることに気持ちが固まっていた。

③ 結果

・紹介就職 パート 生花作製・管理・接客販売

④ 職業相談員の所感

・安心して働けるはずの公的機関でパワハラを受け、その後飲食店で食事中に高齢者が運転する車が駐車場から店舗に突っ込んでくる事故に巻き込まれるなど、想定外の不遇に見舞われてしまった。ただそんな中でも生活のため、今後の子供の進学のためと勇気を振り絞って就活を開始。結果、一度はやってみたかった仕事に応募、面接に行ったところ、事業主も母子家庭で育っており、本人の環境を理解して下さり、当面はパートで体調と子育てを優先し、大学進学の際に心身ともに問題なければ正社員で働いてはどうかと提案して貰えた。本人の思いと事情を受け入れてくれた事業主の存在があり、満足のいく就職をすることが出来た。

⑤ 本人のコメント

・「希望する仕事に就けてとても嬉しい。今後は健康に気を付けながら正社員として働けるように頑張ります。」と報告に来所。